

## Race Report

### フォーミュラ・チャレンジ・ジャパン

開幕ラウンド (第1戦・第2戦) 晴れ

富士スピードウェイ 【4月5日 (土) ~6日(日)】

ついに東徹次郎の2008シーズンが開幕した。今シーズンは全8大会16戦で行われる長丁場であるが、一戦一戦をどう戦うかが非常に大切になってくる。

開幕戦は昨年2位表彰台を獲得した富士スピードウェイから始まる。

#### ■予選■

予選は第1戦2戦共に、セクター2に泣かされて思うようにタイムが伸びず、第1戦予選が12位、第2戦は16位と低迷してしまう。

セクター2の中でも特に、Aコーナーでのブレーキング時の強弱を失敗してしまったようだ。

セクター1・3はトップグループとほとんど遜色ないタイムで、通過したのだが、

セクター2においては0.5~0.7秒もの遅れをとっていた

勝負事にタラレバは存在しないが、セクター2のタイム差を考えなければ、

トップと十分渡り合えるペースであった。

予選は0.5秒以内に約10台近くいるのがFCJというカテゴリー

今後はそういった大きな弱点を作らないことも重要になってくる。

#### ■決勝■

2レース共にスタートでジャンプアップした。

第1戦 12位→11位

その後ペースダウンで11位フィニッシュ。

第2戦 16位→11位

その後ペースダウンで13位フィニッシュ。

絶妙なスタートの後に後退した原因は、やはりセクター2だった。

何がいけなかったのか、何を改善すべきなのかは、明確

開幕ラウンドは、反省点と課題が良く見えたレースとなった。

#### ■最後に■

開幕戦たくさんのご声援ありがとうございました。

悔しい結果となりましたが、逆にしっかりと次へのステップに進むためには、大きな収穫があった大会だと感じております。

こういった経験を生かせるかどうかは、

次回以降のレース結果を見ていただければと思います。

第1戦	Best Time
予選12位	1' 42.393
決勝11位	1' 42.916
第2戦	
予選16位	1' 42.534
決勝13位	1' 43.556

東 徹次郎

17



「今回開幕ラウンドだったのですが、レース前は楽しみにしてとてよりラックス出来ていました。だからこそ、2戦ともスタートがうまくいったのだと思います。

今回このスタートに関しては、かなり自信になりましたので次に繋げていきます。

ただ、レース中に焦って細かいミスなども多かったので、それは今後の反省点の一つです。ここから一歩一歩積み上げていきます。応援よろしくお願い致します。」